



# くるほねっ子

平成30年度  
黒保根小学校 学校だより  
第30号  
平成30年12月14日(金)  
〈文責〉校長

稲作学習のまとめ

## もちつきの会



12月7日(金)に『もちつきの会』を実施しました。4月の種籾まきから始まり、田植え・水の管理など、5年生を中心に稲作学習に取り組み、10月の稲刈り、11月の脱穀を体験し、この日を迎えることができました。天候にも恵まれ、20名を超える多くの保護者の皆様、支援隊の皆様にご協力をいただきました。

朝早くからまきを運び、かまどを設置してまずお湯を沸かしました。そして、お米をふかし、餅つきが始まりました。子どもたちが出てくるまでに、6臼が出来上がり、切り餅にいただきました。

そして3校時から子どもたちの餅つきの始まりです。5年生が開会式の進行を努め、餅つきがスタートしました。6年生は小学校生活最後の餅つきになりましたが、みんな手慣れた様子で楽しんでいるようでした。また、初めて参加した4年生も、保護者のみなさんに声をかけていただきながら、少しずつ慣れてきた様子でした。そして、中心となって稲作学習に取り組んできた5年生。餅つきだけでなく、準備をしたり、できあがったお餅を教室へ届けてくれたりしました。

黒保根小の稲作学習は、5年生の総合的な学習の時間の中心となる内容です。「自分たちで育て、収穫し、それをいただく」これらの中で、子どもたちはたくさんのお話を学びます。栽培することの大切さ、食べることのありがたさ、黒保根の自然環境の素晴らしさ、伝統や文化を引き継ぐことの大変さ、水の恵み……。これから1年間の学習をまとめていく中で、子どもたちに多くの気づきや学びがあることを期待しています。

1年間の稲作学習で、本当に多くの方々のお世話になりました。子どもたち同様、私たち職員もたくさんのお話を学ぶことができました。あらためて感謝申し上げます。ありがとうございました。



【今回も多くの皆様にお世話になりました！】